

芦屋市立美術博物館は、1991年に芦屋市制施行50周年記念事業として開館いたしました。美術部門と歴史部門を併せた複合施設として、芦屋ゆかりの作家の作品を中心に内外の名品をご覧ください。また、芦屋の自然や歴史を実際に目で確かめ体験する学習の場として、皆様に親しまれる身近な文化施設となることを目指しています。

《イベント情報》

ART MARKET あしやつくる場

毎年、春(5/20、5/21)、秋(開催日未定)に当館のお庭に手作りマーケットやワークショップの出店者が集まります。“つくる”ことから生まれる喜びや発見を共有する2日間です。



アートスタディプログラム

Bihaku Room / びはくルーム2017

現代美術作家と一緒に、美術の面白さ、楽しさ、難しさを発見し、美術に親んでいただく場となるようなイベントを開催します。今回はワークショップのほかに、サウンドアートのトークイベント「90年代の神戸の音の実験」(仮称)と、一日だけの展覧会「芦屋の近代 現代のとりくみー当館コレクションより」を予定しています。



2016年度「コチラとムコウinびはく」

※その他、展覧会関連イベントなど様々な催しを予定しています。詳細は随時当館HPで公開します。

小出楯重アトリエ

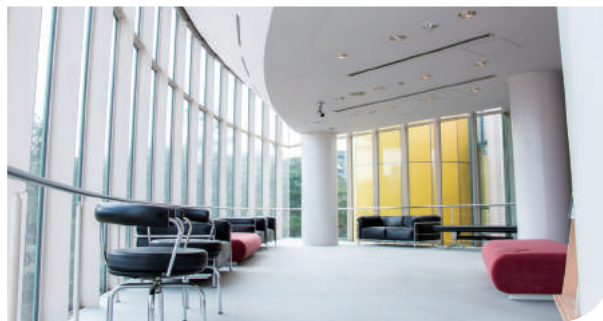
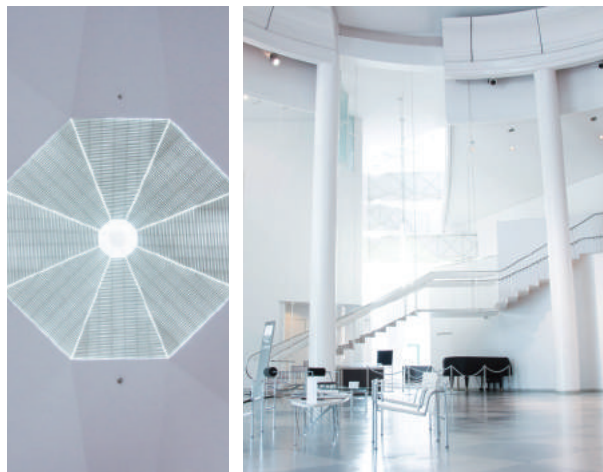
洋画家・小出楯重のアトリエを復元し、愛用の画材やモチーフなどの遺品、資料を展示しています。美術博物館開館中はどなたも無料でご覧いただけます。



喫茶

Café de Repos カフェ・ド・ルポ

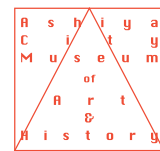
美術博物館のお庭に隣接する喫茶店。特別展に合わせて期間限定のデザートメニューもご用意しております。9:00～17:00まで。



芦屋市立美術博物館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25
TEL : 0797-38-5432 <http://ashiya-museum.jp/>

Ashiya City Museum of Art & History



Exhibitions Schedule

2017.4
↓
2018.3

芦屋市立美術博物館 展覧会スケジュール

ご利用案内

開館時間 | 10:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日 | 月曜日(祝日の場合は開館、翌火曜日休館)
年末年始、展示替え期間中

観覧料

一般 300円(240円) / 大高生 200円(160円) / 小中学生 無料

※()内は20名以上の団体料金です。
※展覧会によって料金が異なる場合があります。
※高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちのかたとその介護のかたは各当日料金の半額になります。

駐車場使用料

30分100円(8:00～20:00) / 60分100円(20:00～8:00)

※当館利用者は1時間無料

施設使用料

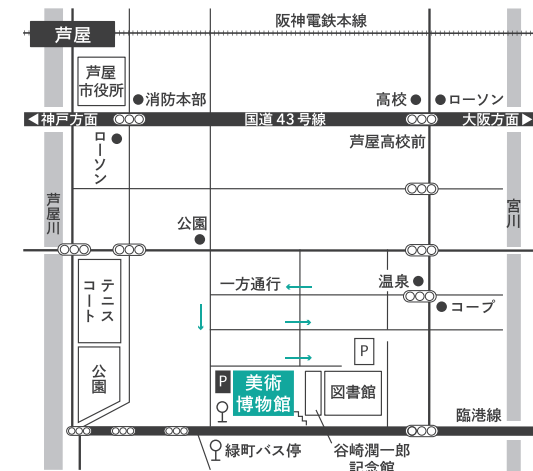
区分	10:00～12:00	13:00～16:30	10:00～16:30
講義室	2,800円	4,300円	7,100円
体験学習室	4,100円	6,700円	10,800円

交通のご案内

徒歩 → 阪神電車芦屋駅から南東へ約15分

阪急バス → 「新浜町」行きまたは「芦屋市総合公園前」行き乗車(31、32、35、36、131系統)、「緑町(美術博物館前)」停留所下車

バス乗り場 → 阪神電車芦屋駅から：南側2番のりば
JR芦屋駅から：北側5番のりば、阪急芦屋川駅から：南側5番のりば



2017年4月1日(土)→5月21日(日)

春ひらくー芦屋のたからもの

～今に伝わる神社、寺院の宝物～



左：《三角縁波文帯三神二獸鏡》(親王寺蔵)
右：岩園天神社絵馬《牛若丸鞍馬山修行之図》

古代から交通、文化の要衝として栄えた芦屋には、今も人々の崇拝を集める神社、寺院がありますが、それぞれの寺社には、歴史ある宝物が大切に守り継がれてきています。

芦屋神社の鳳輦(ほうれん)、2017年に当館に寄託された打出天神社の地車(だんじり)の水引幕、当館が収蔵する岩園天神社の絵馬をはじめ、親王寺の寺宝《流水文銅鐸》、《三角縁波文帯三神二獸鏡》など、今に伝わる芦屋の神社、寺院の「たからもの」をご覧くださいませ。

2017年6月3日(土)→7月2日(日)

第64回 芦屋市展



第63回
芦屋市展講評会の様子
2015年(参考)

「何人も随意に応募することが出来ます」という自由さが特色の公募展として1948年に第1回展が開催されました。第64回を迎える本展は、平面、写真の2部門で構成されます。

今回も多くの方々に親しみをもっといただける公募展をめざします。前回に引き続き、会期中に来場者の投票で選ぶ「オーディエンス賞」も設けます。

主催：芦屋市、芦屋市教育委員会、芦屋市立美術博物館

2017年7月15日(土)→9月18日(月・祝)

交差するアーティストたちー戦後の関西(仮称)



津高和一 《風化》
1956年 油彩、カンヴァス

戦後、関西の美術界では「デモクラート美術家協会」、「現代美術懇談会(ゲンビ)」、「具体美術協会」など、多くのグループが誕生しました。目指したものと掲げたものは多様でそれぞれ異なりますが、互いに断絶したり対立したりするのではなく、横断的な繋がりを保ち、相互に影響を与えながら発展してきました。

本展では戦後、クロスオーバーしながらしなやかに制作された作品と、アーティストたちのその後の展開も含めて展覧します。

Opening calendar

2017 4							5							6									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
						1			1	2	3	4	5	6							1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10			
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17			
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24			
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30							
30																							

2017 7							8							9								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
						1			1	2	3	4	5								1	2
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9		
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16		
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23		
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30				
30	31																					

2017 10							11							12											
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土					
						1							1	2	3	4								1	2
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9					
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16					
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23					
29	30	31	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30											

2018 1							2							3											
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土					
						1							1	2	3								1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10					
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17					
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24					
28	29	30	31	25	26	27	28	25	26	27	28	29	30	31											

- 春ひらくー芦屋のたからもの ～今に伝わる神社、寺院の宝物～
- 第64回 芦屋市展
- 交差するアーティストたちー戦後の関西(仮称)
- 生誕220年 広重展 ～雨、雪、夜 風景版画の魅力をもとく～
- 小杉武久展(仮称)
- 第35回 芦屋市造形教育展
- 一日だけの展覧会「芦屋の近代 現代のとりくみー当館コレクションより」

※その他の期間は休館日となります。また都合によりスケジュール・内容が変更になる場合がございます。

2017年10月7日(土)→11月26日(日)

生誕220年 広重展

～雨、雪、夜 風景版画の魅力をもとく～



左：《保永堂版東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪》
右：《保永堂版東海道五拾三次之内 庄野 白雨》

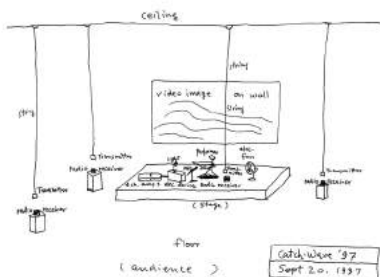
浮世絵師歌川広重は、東海道五拾三次など、懐かし親しみやすい風景版画作品で人々に親しまれています。本展では、雪の蒲原や雨の庄野でおなじみの保永堂版東海道五拾三次之内(全揃)のほか、江戸名所絵、全国各地の名所絵など、広重の主要な風景版画作品を「雨、雪、夜」をキーワードにご紹介します。2017年は広重の生誕220年にあたり、広重の風景版画がなぜ昔も今も人々に愛され続けるのか、改めてその魅力を探ります。

2018年3月25日(日) 一日だけの展覧会「芦屋の近代 現代のとりくみー当館コレクションより」

当館には、昔と今が詰まっています。たくさんのお蔵品は宝物です。伊達伸明、中村裕太、伊藤存。当館のことを知り尽くした三人のアーティストが、そんなコレクションたちとがっすり四つに組み、未来の方向へ、少し光を当てます。一年かけて準備した、このたった一日の展覧会には、今とこれからが詰まっています。

2017年12月9日(土)→2018年2月12日(月・祝)

小杉武久展(仮称)



小杉武久 《Catch-Wave '97》
1997年 ドローイング 作家蔵

小杉武久(1938-・東京生まれ)は、1960年に「グループ・音楽」を結成、70年代には「タージ・マハル旅行団」のメンバーとして活動、77年よりアメリカの「マース・カニングハム舞踊団」の専属音楽家や音楽監督を務めました。個人としても、演奏活動のみならず、世界各地の美術館などで音の作品を発表。本展では、50年代から現在に至る活動を作品と貴重な資料で紹介し、小杉独自の「音の世界」の全貌をご覧くださいませ。

2018年2月17日(土)→2018年2月25日(日)

第35回 芦屋市造形教育展



市内の幼稚園・小学校・中学校の子どもたちの作品を全館にわたり展示します。

主催：芦屋市教育委員会、芦屋市造形教育研究会

第34回 芦屋市造形教育展の様子 2017年(参考)

2017年6月3日(土)→11月26日(日)

芦屋の歴史と文化財



鶏形埴輪
(金津山古墳出土)

2012年に芦屋市指定文化財に指定された「芦屋川の文化的景観」が育んできた芦屋の歴史をご紹介します。芦屋の歴史を古代、中世・近世、近代の各時代にわけ、それぞれの時代の主要な歴史資料をご紹介します(期間中展示替えがあります)。

2017年12月9日(土)→2018年2月25日(日)

昔のくらし



打掛 1940年

昔の人が大事に使っていた資料を通して、道具やくらしが変わってきたことには、人々のどんな知恵や願いが込められていたのかを考えます。今のくらしができるようになった道具の進化や、人々の工夫をご覧くださいませ。